

## 嬉野医療センターを受診された患者さまへ

### 研究情報公開について

通常、臨床研究を実施する際には、文章もしくは口頭で説明・同意を行い実施します。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いた研究については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用、または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

|                    |                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 研究課題名              | 当院における EVAR 術後 Late open conversion 症例の検討                                                                                                                                                                                                                                 |
| 研究責任者（所属名）         | 高松 正憲（心臓血管外科 部長）                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 本研究の目的             | 現在、本邦の腹部大動脈瘤の約 6 割が腹部大動脈ステントグラフト内挿術（EVAR）で治療されております。EVAR は人工血管置換術と比較して早期生存率は良好だが、遠隔期合併症発症率や再介入率が高いことが知られており、約 3% 程度で Late open conversion（LOC、開腹再手術）が必要となります。LOC の術式としては人工血管置換術や動脈瘤縫縮が報告されていますが、術式の選択について明確な基準はなく、今回、当院で EVAR 後に LOC を行った症例について、患者背景や手術術式、手術結果等を比較検討しました。 |
| 調査データの該当期間         | 2012 年 6 月から 2025 年 8 月まで                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 研究の方法<br>（使用する試料等） | ●対象となる患者さま<br>2009 年 1 月から 2023 年 12 月までに当院で EVAR を施行した症例のうち、術後のフォローアップ中に LOC を行った症例<br>●利用する情報<br>患者背景情報（年齢、性別、既往歴）や検査データ、手術記録等<br>電子カルテに記載のある診療記録を収集する。                                                                                                                 |
| 個人情報の取り扱い          | 利用する情報から、氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除した状態で取り扱われます。研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。                                                                                                                                                                         |
| 本研究の資金源<br>（利益相反）  | 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。                                                                                                                                                                                                                                           |
| お問い合わせ先            | 電話：0954-43-1120（代表）<br>担当者：心臓血管外科 古賀 佑一                                                                                                                                                                                                                                   |
| 備考                 | データの利用に同意されない場合、以下の期限までにお申し出ください。<br>申し出期間：2026 年 1 月まで                                                                                                                                                                                                                   |